

世田谷まちづくりファンド助成事業 第19回(2011年度)審査コメント

鵜尾雅隆

総評

今回の印象は、一言で申し上げるとすれば、「大変期待感のある、いいモデルとなるようなチャレンジに多く接することができた」ということだと思っています。世田谷まちづくりファンドの支援も限られたものですし、個々のグループ・団体の活動も、決して大規模なものではありません。しかしながら、その発想、楽しさ、広がり感に、今後まちづくりに携わろうとする人たちにとってのヒントとなることがたくさんあるという印象を得ました。また、今回の審査会は私自身、4回目となりますが、後半での活動報告会を中心に、これまでで、もっとも楽しく、かつみなさんのお互いの繋がりを感じました。今後も世田谷まちづくりファンドが生み出す価値として、みなさんの活動の輪が広がるような応援をしていければと感じました。

はじめの一步部門

0-1 こどもでつながるハートくらぶ

障害を持つ子どもを抱えた親にとって、障害の種類に対応した集いの機会は多くありますが、地域という軸での集まりの機会というのはとても必要性があると思います。申請書からは、勉強会や交流会の具体的なイメージが明確ではないのですが、是非、誰もが参加しやすく、学びがあって、楽しい場を試行錯誤の中でつくってください。

0-2 あかねこうぼう

多くの人に具体的な生きがいを持ってもらう機会を提供できているということが、大変素晴らしいと感じました。運営委員会の体制などもしっかりされているようですし、今後の更なる発展を期待しています。

0-3 トランジション世田谷

今、多くの人に関心を持っているテーマだと思います。是非、幅広い層の参加を得た勉強会を開催されることを期待しています。自然エネルギーへの転換は、それ自体、大事なことです。それが、自然エネルギーの転換を考える人たちが地域でつながり、そのつながりのおかげで日常生活も更に楽しくなるというモデルに成長していくと、楽しみですね。

0-4 (仮称) 在宅チーム医療を考える会

在宅医療に携わることのできる多職種の人たちとの連携強化という発想はとても重要なことだと感じました。他方で、本業の病院との切り分けを今後明確にしておく必要性も感じました。単院ではなく、勉強会などを通じて地域の複数の病院が参加するような枠組みになると、より公益性が高まると感じました。

0-5 どんどんガガガ隊

公開審査会でのプレゼンにも力がありましたが、力のこもったグループ名が印象的です。子どもたちが元気いっぱい大きな絵を描くというところが、とても魅力的に感じました。出来あがった作品の展示、楽しみにしています。

0-6 フレンドリーグループ

まちなかの、ちょっとしたエアポケットを見つけ、そこに憩いや安らぎを創りだしていく。それを行政まかせにせず、自分たちの想いや人の輪を活かしながらやっていくことが、区民主体のまちづくりの第一歩なのだと思います。みなさんにとって、地域の誇りであり、やすらぎである空間、是非創りだして下さい。

1-1 パーマカルチャーガーデン世田谷

マンションのコミュニティガーデンのモデルを作ろうという発想、とても興味深く伺わせていただきました。マンション住人だけではなく、地域の人たちも活用可能となるというところで、魅力もあり、難しさもあると思います。うまくいったところ、苦勞しているところ、失敗したところ、それら全てが、今後、マンションを軸にしたコミュニティ再生を考える人たちにとって参考になると思います。中間活動報告や来年の報告、楽しみにしています。

1-2 からすやま地域の力を集める会

地域で活動する様々な主体の連携を図ろうとする取組は、いろいろと提案もあり、取り組んでいる方もいらっしゃいますが、この提案には、とても地に足のついた、具体的な取組が期待できると感じました。ともすれば、すごく「コア層」の関心者だけがこうした活動に参加しがちなものですが、若い方やニューファミリー層も多い千歳烏山ですから、まずは、「きっかけづくり」というところから、是非、若い世代の方々やニューファミリー世代も巻き込んで、魅力的な街づくりを目指してください。

1-3 きっかけファクトリー

地域の放棄地を活用して、市民農園をより活用しやすい形で生み出すというところには、その必要性や他の同種事業との差別化、社会的ニーズについてよく理解できました。他方で、ともすると、市民農園が「耕作する人」と「農園運営側」の関係、あるいは、「耕作する人」たちとの間の共益的關係だけに留まってしまふことがあります。市民農園を拠点に、いかに周辺の地域社会（学校、福祉施設、高齢者など）を幅広く巻き込む仕掛けを考えていく、「公益」的要素を組み込んでいくかが課題だと思ひます。

1-4 千歳小おやじの会

父親の社会参加を促進していくことは、まちづくりを考えるうえでとても重要であり、みなさんの取組に敬意を表します。他方で、今日多くの親父の会があり、何等かの地域的活動も行う親父の会も増えてきています。そうした中で、「さすが千歳小の親父の会は、地域参加度が他の親父の会とは別格だ。モデルになりえる」と感じさせるものを、今後更に期待したいと思ひています。

1-5 玉川にエコタウンをつくる会

まちづくりを行政まかせにせず、区民の意見をしっかりと反映させていこうという取組の重要性はもちろんですが、更に具体的に駅前グリーン作成などの、普通の区民にも目に見える取組をされようとしているところが、より区民にとっても参加しやすく、関心を持ちやすい取組になっていて良いと感じました。

1-7 まちづくりの仲間たち

はじめの一步部門での取組みを更に進化させての取組みに期待しています。様々なまちづくりの担い手の間の交流機会を生みだし、連携を深める必要性は、数多くの方に指摘されていながら、いずれのそうした取組も、総じて課題に直面し、苦勞をしているように思ひます。この1年間の取組で、何かひとつでも、ふたつでも、「経験を踏まえると、こういうやり方がうまくいくのではないか」という発信を是非期待したいと思ひます。

1-8 ころろ からだ セルフィール

子育てに悩むお母さんに限らず、メンタル面で悩む人たちのための取組の大切さ、そして皆さんのこれまでの具体的取組のご苦勞などについてもよく分かりました。他方この活動が、まず、自分たちとして形になっていったあと、どのように展開したり、発展したりするのか、より多くの人にも支援の輪が広がるために、どのような取組が考えられるのかが、より明確になっていくとよいと感じました。

1-9 ウェルカムチャンネル

地域の外国人と近隣住民のネットワークづくりというテーマには、今日的な重要性があると思います。他方で、参加者の広がり、より多くの人に映像を見てもらう仕掛けには今後更に取り組を期待したいと思います。

1-10 働きたいママの応援 Café

大吉カフェという拠点があることを有効活用した「働きたいママを応援する」取組み、社会的にニーズがあることは明確なのですが、実際に仕事とマッチングさせることは容易ではないところもあります。しかし、プレゼンを聞いていて、理屈抜きで、何か企業の人を巻き込めそうなエネルギーというか、「潜在力」を感じました。今年1年間、実際に取り組まれて、経験をまた聞かせてください。

2-1 フラワーランド園芸ミニデイ

フラワーランド花のボランティア養成講座 22 期生の有志で立ち上げられた活動が、形になってきていることをとても嬉しく伺いました。こうした、既存のボランティア講座の修了生が、実際に地域づくりの担い手となる「場」はあるようであり、十分に機能していないところもあり、みなさんの活動が、他の期の卒業生にも広がることを期待しています。実際に後輩にお話したときは、参加がなかったというお話もありましたが、引き続き、あきらめずに、「気づき」をあたえるよう働きかけを続けていただくことを期待しています。

2-2 東京グリーンプロジェクト

素晴らしい展開の仕方で、感銘を受けました。地域の学校など様々な主体をしっかりと巻き込んでおられるところが他の団体の取組にも参考になるようなところがあるように思いました。今後の福祉農園などとの連携強化、学年ごとの保護者の組織化など、次のステージへの発展が明確にイメージできているのも印象的でした。

2-3 放課後あそび舎

近隣だけではなく、離れたところからも参加者があるというお話や、親の参加率やリピート率がいいというお話は、活動の将来性を感じさせました。また、中間活動発表会でできた他の団体とのつながりを活かして、お互いに情報交換をしたり、愚痴を言い合ったりしているというところも、大変うれしく伺いました。こうした横のつながりが生まれ、それを活かしていただけることが、ファンドの大切な価値だと再認識させていただきました。

2-4 野川の多自然川づくりを考える連絡会

着実に活動が進んでいる様子を拝見して、嬉しく思いました。今後の期待として、1-3年間でどのような状態を目指し、どういった取組を行っていくのかが、若干漠然としているところを、より明確化していくとよりよいように思います。イベント案内などができるメルマガ・メーリングリストの作成のアイデアもありがとうございます。それぞれの活動をお互いに知り、あるいは区民で関心のある方に知っていただく取組、必要だと思いました。

3-1 芦花公園しあわせの野音の会

年10回にわたり、着実にパークライブを開催され、多くのグループの参加を得ているということが素晴らしいと思います。会員の輪を広げていくプロセスは、単なる活動資金面の確保だけではなく、パークライブを通じて実現したいことへの共感者を増やし、いろんな人へのロコミをしてくれる人を確保していくプロセスでもあります。500円という金銭価値を超えて、自立にとってとても大切な要素になると思いますので、地道に会員を増やしていく取組を進められることを期待しています。芦花公園の広いエリアに、ひとつホッとする空間。今後も大切にしてください。

3-2 豪徳寺駅周辺風景づくりの会

ヒヤリングのときに伺った、「自立していくということは、財源の話だけではない。新しい手法や発想を地域住民や主要な関係者に体感してもらうことで、継続的に発想を変えていくという側面もある」というお話は、とても印象的です。まさに、新しい発想を定着させるプロセスを更に進化させていくことを期待しています。

3-3 岡さんのいえ TOMO

毎年、課題設定をして、参加者を増やす努力をされている点がよく伝わってきました。他方で、助成終了後の活動については、継続性の観点で不安を抱えておられる様子も感じられました。地域のための活動が全てにおいて自立発展性のある財源を確保できるわけではなく、特性によっては採算をとることが難しいものもあります。しかし、将来をみずえると、助成金がある間に、企画への協賛、参加費負担の見直し、共感・ファン層の囲い込み（メルマガなど）を通じたイベント採算性の向上など、未来を見据えた「採算モデル」への前進を期待しています。

3-4 わいわいコミュニティ・たまがわ

三世代が参加できるゆるやかなコミュニティを創るというチャレンジですが、定期的な運営ができていること、さらにはパパのランチのイベントが新しく生まれるなど、確実な広がりを見せているようですね。他方で特にシニア層の参加については苦勞もされている様子も拝見しました。3年目で、今後、どのような形でも参加者が「継続したい」と思える場

に成長するのかどうかのチャレンジですね。頑張ってください。